



はやし 幹人 林もとひとと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

ノイズキャンセリング技術

成田空港の騒音 軽減に應用提言

成田空港を核とした地域発展に全力を上げている林幹人県議(成田市選出、3期)は9月定例県議会で一般質問に立ち、成田空港の騒音対策や観光振興、特殊詐欺対策について知事ら県執行部に質問しました。成田空港の騒音対策では、騒音を打ち消すノイズキャンセリング技術を紹介し、民間企業と連携、協力して騒音軽減技術の開発を進めてみてはどうかと質問しました。林県議の質疑と県の答弁を特集します。

9月定例県議会一般質問



9月定例県議会で一般質問を行う林幹人県議

林議員 先般、4回目の四者協議が開催された。第3滑走路の具体的な場所をはじめ、成田空港の飛行制限を大きく3時間短縮し

て朝5時から夜1時まで飛ばすことを可能にし、現在の17時間態勢から20時間態勢の空港に拡大しようという案が提案された。

当然、これを進めるには大きな騒音負担があるので、空港としても周辺対策交付金を更に手厚くし、窓を二重サッシにするなどの各種防

音対策を強化するなど提案された。これらのことを地元の人たちに丁寧に説明していくということが先般、四者協で承認された。

実際、これから厳しい交渉になるかと思う。騒音を根本的に何とか解決できないかという観点からいろいろ調べてみたが、アメリカの音響会社が開発し、日本のメーカーも製品化しているノイズキャンセリング技術という面白い技術がある。

ノイズキャンセリングヘッドホンに装着するとヘッドホン外側に集音マイクがついていて、そこで騒音を拾う。それをコンピュータで解析してその音波の波と全く逆位相の音波を作りだして人間の耳に聞かせる。すると人間はあたかも音が消えた

かのように錯覚するという技術。これを騒音対策に生かさないか。既に道路では東京環境科学研究所が道路の防音壁に同じ技術を導入して騒音を軽減しているという実績がある。建設会社の奥村組は重機のエンジン部分にその機械を装着して実証実験をしている。既に民間で実用化に向けて動き出しているノイズキャンセリング技術だが、ぜひ空港にも生かさないかと考える。

そこだろうかだが、県として民間企業と連携、協力した騒音軽減技術の開発を進めてみてはどうか。

総合企画部長 航空機騒音の軽減につきましては、第一義的には、その発生源である航空機を製造するメーカーが主体となって低騒音機の開発・普及に努めるとともに、航空機を運用する航空会社や空港を運営する空港会社が騒音軽減に取り組む必要があります。こうした主体において、将来を見据えて、騒音の大幅な軽減をもたらす可能性のある革新的な技術開発を進めることが重要であると考えております。

県といったとしても、航空会社や空港会社と騒音軽減に関する情報を共有するとともに、新たな騒音軽減策の導入に積極的に取り組んでいくよう求めてまいります。

これは空港問題の根本的な解決につながる可能性がある非常に大きな技術なので、ぜひ、県も主体となってこの技術の開発に取り組んでいただきたい。

これから四者協議会で決定したことを騒音下の方々に説明していくにあたって、県としても許認可の関係もあり、非常に大きな部分を担うことになりそう。

そして、この騒音問題の解決というのはまさに県も待ち望んでいることなので、NAAや航空会社に頑張ってもらっていただくのではなく、音響企業、関係企業にも連絡をとって、技術提携はできないかなど、騒音軽減政策に県が主体となってやっていくことが必要ではないかと思う。

要望 林議員 空港の騒音軽減策について、

林もとひと県議・プロフィール

○略歴○

昭和48年 9月	銚子市に生まれる
平成4年 3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年 3月	玉川大学文学部卒業
平成8年 5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月	空港グランドサービス入社
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選
平成23年 4月	千葉県議会議員再選
平成27年 4月	千葉県議会議員3選

○現職○

- 県議会 総合企画水道常任委員会委員長
- 自民党 ちば青年局次長

県政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽どうぞ

〒286-0134 成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号

林もとひと 県議事務所

TEL.0476-20-0884 FAX.020-4622-9781 Eメール:motohito884@gmail.com

